

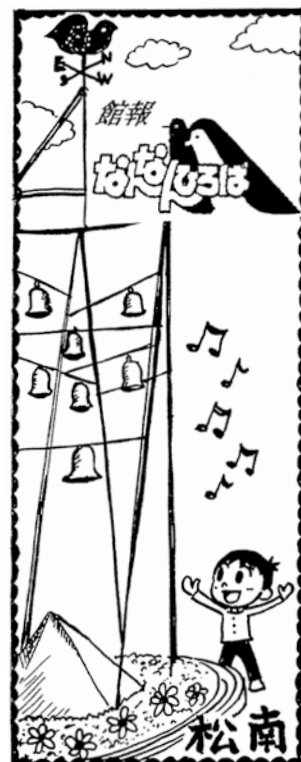
福祉ひろばまつりから広がる地域の絆



大勢の子どもで賑わうスーパーボールすくい

4月から松南地区福祉ひろばのコーディネートとして、地域の皆様と交流させていただいております。松南地区福祉ひろばでは、毎月たくさんの方の事業を行っており、その中でも、毎年10月には大きなイベントとなる「福祉ひろばまつり」があります。

“福祉ひろばに携わって”



「ばまつり」があります。

今年は10月5日に、第22回松南地区福祉ひろばまつりを開催しました。ふれあいまつりと同時開催ということ、地区外からの参加者や子どもたちも多く、準備期間中から早くも会場は大勢の人で賑わいを見せていました。

私の担当場所である利用者様たちの作品の展示・販売ブースでは、じっくりと見てまわったり、色とりどりの品をいくつも手に取っては購入されるなど、それぞれ、とても楽しそうに過ごしておられました。

ステージでも様々な催し物が行われ、児童センターの子どもたちによる合唱や、子どもたちと希望の家利用の方々の手話ダンスは、心温まる素晴らしいパフォーマンスでした。

私は今回のおまつりを通して、施設を利用される地域の皆様に、笑顔で過ごしていただきたいと改めて感じました。福祉ひろばコーディネーターとして、利用者様のお心に少しでも寄り添えるよう、今後も精一杯取り組んでいきます。

(松南地区福祉ひろば

松尾 莉奈)

松南地区球技大会



マレットゴルフ(信州スカイパーク)

9月29日(日) 松南地区球技大会が開催されました。今年の参加は、ソフトバレーはレディースチーム、フアマリーチーム、混成チームの3チーム、卓球は親子ペアや夫婦ペアを含む全6組、マレットゴルフは16名の参加でした。

残念ながら野球はチームを構成できず開催を見送りました。

以前は町会対抗戦が繰り広げられる一大イベントであった本大会をスポーツで地域を盛り上げたいという思いから毎年実施していました。



大熱戦の卓球競技

しかし、参加人数集めに苦慮しており、関係者からも継続は厳しいのではという声も聞かれる昨今です。

子どもから大人まで参加者一人一人がスポーツを楽しみ、そして親睦を深め合い、参加して良かったと思ってもらえる大会になれば、地域の活性化にも繋がるのではと思っています。

本年参加の皆さま大変お疲れ様でした。そしてありがとうございます。また来年もどうぞよろしくお願いします！

(松南地区スポーツ協会

藤森 康司)

松南地区 子ども食堂



地域の子どもの居場所づくりを目的に「松南地区地域づくり推進協議会 地域福祉・包括ケア部会」の取り組みとして昨年度より始めた「子ども食堂」が、今年も「なんなんフェスタ」と同日開催で、9月15日に南部体育館前で行われました。

松南地区日赤奉仕団の皆さんがカレー作りに、野菜の下ごしらえをし、炊飯器をフル稼働で20キロのお米を炊いてくれました。そして、南部体育館の前では、日赤の大釜を2つ使ってスタッフがカレーを朝から煮込み始めると、なんなんフェスタの会場にはカ



配食を待つ人たち

レーのいい匂いが漂い始め、時間前には、子ども達や親子連れが大勢並びました。

カレーの配布が始まると、皆さんカレーを手にも思い思いの所に座り、楽しそうにしゃべりしながら食べていました。帰り際、「美味しかったです」と子ども達や、皆さんが声をかけてくれてとても嬉しかったです。

近頃は、災害がとて増えています。何かあった時に隣近所の顔なじみがいると心強いのではないかと思います。松南地区では様々な催し物を開催して皆さんが集まる場を作っていますので、ぜひ参加してもらえればと思います。

(松南地区生活支援員

新田 洋子)

松南地区のできごと

11/9 双葉町防災訓練



10/20 南部体育館合同避難所運営訓練



▶ 災害に備えて

9/14・15 なんなんフェスタ



▶ 開明小学校プラスバンド



▶ すみれ会の皆さん

コラム松南

● 「PTA消滅！」 ●

最近、耳にして驚愕したことがあります。それはPTAを廃止するというニュース。PTAは子どもたちの福祉や教育効果の向上が目的だとか。コロナを

きっかけに大きく変わったのが『義理切り』だと私は実感しています。結婚式・お葬式・町会の集まり・学校行事……。今はそれらも以前のように戻りましたし、合理的かつシンプルになったのは悪いことではないと思っています。ではPTAはどうか。仕事は休みたくない、面倒だ、PTAがなくても生活はできる……。なんて当時は思っていました。ただPTA活動の中で仲良くなったママ仲間に助けていただいたことや学んだことがたくさんあったと、今思い返しています。そのつながりは無駄ではなく20年来連絡を取り合う関係が続いています。PTAがなくなっても子どもを通じての出会いやつながりを大切にする親、その姿を見て人を大切にできる子ども……。そんな親子で世の中が溢れかえったらいいなと願います。

(秋本雅代)